

研究課題	抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎の肺病変と治療経過に関する疫学調査
研究期間	2016年10月11日～2022年4月30日
研究の目的と意義	<p>ANCA 関連血管炎とは、本来は外部より侵入した有害な異物を排除する働きを持つ免疫が自分自身を攻撃してしまう病気（自己免疫疾患）の一種であり、抗好中球細胞質抗体（ANCA）と呼ばれる自己抗体を特徴とする疾患です。ANCA には主に MPO-ANCA と PR3-ANCA があり、日本では MPO-ANCA 陽性の顕微鏡的多発血管炎の頻度が高いです。腎臓の病気として急速進行性糸球体腎炎の臨床経過をとることが多く、以前は非常に生命予後が悪い疾患でした。血管炎に対する治療法の進歩と、治療に伴う有害事象の対策により生命予後は改善しましたが、高齢者に多い ANCA 関連血管炎では血管炎が沈静化してからも、動脈硬化、骨粗鬆症などの合併症が懸念されます。大動脈弁狭窄症の病因として動脈硬化と同様の機序が考えられています。本研究では ANCA 関連血管炎の患者さんにおける大動脈弁狭窄症の頻度と進展を明かにすることを目的とします。</p>
研究の方法	<p>藤田保健衛生大学病院腎内科で診療した既往がある MPO-ANCA 関連血管炎の中で胸部 CT が施行されている患者さんを対象に、胸部 CT 画像と検査結果、治療経過などについて、診療録に基づいて調査することにより、肺病変と治療反応性、予後との関連などを明らかにすることに役立てます。</p> <p>本研究の対象となる患者さんで、研究について、より詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当研究者にお申し出下さい。また、本研究の対象になる患者さんで、自身のデータ利用を除外してほしいと希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。速やかに研究対象から除外いたします。なお、除外のお申し出により患者さん・ご家族が不利益を被ることは一切ございませんのでご安心下さい。その他、本研究に関するお問い合わせは、下記の問い合わせ先へお問い合わせ下さい。内容を確認の上、研究者より適切にお返事させていただきます。</p> <p>ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします</p>
外部への試料・情報の提供	なし
倫理的配慮	<p>データ収集の際、あなたの診療情報については氏名などの個人情報が用いられることはなく削られ、代わりに新しく符号がつけられます（匿名化）。あなたとこの符号とを結びつける対応表は、藤田保健衛生大学医学部腎内科学において管理担当者が厳重に保管します。研究の成果は、個人が特定できるすべてのものは消去した上で、教育、研究発表などに用います。</p>
研究組織 研究責任者	<p>藤田保健衛生大学医学部腎内科学（〒470-1192 豊明市沓掛町田楽ケ窪1番地98） 藤田保健衛生大学医学部腎内科学 教授 長谷川みどり</p>
問合せ先 TEL 担当医師	<p>0562-93-9245（月～金 9:00～17:00）藤田保健衛生大学医学部腎内科学医局 医師 岩崎仁</p>